米沢市報道資料

令和８年11月27日
上下水道部業務課
電話　22-4511

米沢市水道事業ビジョン2036(案)及び
第6期米沢市水道事業中期経営計画(案)の
パブリック・コメントを実施します。

1　実施期間

令和８年12月１日(火)～令和８年12月22日(火)(22日間)

2　閲覧資料

① 米沢市水道事業ビジョン2036(案)
② 米沢市水道事業ビジョン2036(案)【概要版】
③ 第6期米沢市水道事業中期経営計画(案)
④ 第6期米沢市水道事業中期経営計画(案)【概要版】

3　閲覧場所

市ホームページ・市民ホール(市役所１階)・業務課(上下水道部２階)
・各コミュニティセンター

4　意見を提出できる方

①米沢市民
②米沢市内の事業所等に勤務又は米沢市内の学校に在学している方
③この施策に利害関係を有する方

5　提出方法

郵送、FAX、電子メール、電子申請(やまがたｅ申請)、メール、直接持参

6　提出先

〒992－0012
山形県米沢市金池五丁目1番23号
米沢市上下水道部業務課
FAX:0238－23－6177
電子メール:gyoumu-ka@city.yonezawa.lg.jp

【概要版】第６期米沢市水道事業中期経営計画（案）
（計画期間令和９年度～令和１３年度）

１　計画策定の趣旨・位置づけ

本市の水道事業は、人口減少や節水機器普及などにより水需要の減少傾向となることが予想され、今後の料金収入も年々減少していくことが見込まれる一方、老朽化した水道管の更新が必要な時期を迎えています。

このような厳しい経営環境のなか、引き続き効率的で安定した経営を継続していくため、「第６期米沢市水道事業中期経営計画」を策定するものです。

この計画は、水道事業の中・長期計画となる「米沢市水道事業ビジョン 2036」（令和９年度～令和１８年度）の実施計画として位置付けます。

２　事業運営の基本方針

（１）「安全」すべてのお客さまに安全でおいしい水道水を供給する水道
（２）「強靭」自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道
（３）「持続」給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

３　主要事業計画

基本施策		具体的取組
安　全	①水質管理体制の強化	ア　水安全計画の運用 イ　水質検査計画の策定・公表
	②良質な水の追求	ア　洗管作業の実施 イ　貯水槽水道設置者への指導・助言
	③水源・水量の確保	ア　非常用水源の点検・整備
強　靭	④水道施設の計画的な更新・耐震化	ア　アセットマネジメントに基づく計画的な水道施設の更新 イ　重要管路の耐震化 ウ　基幹管路の耐震化 エ　水道施設の耐震性評価・計画的な耐震化 オ　白布浄水場の整備方針の検討
	⑤危機管理・応急体制の強化	ア　各種マニュアルの整備（見直し） イ　マニュアルに沿った訓練の実施
持　続	⑥施設規模の適正化	ア　配水計画の随時（適時）見直し イ　施設更新時における施設能力の見直し ウ　施設の統廃合・ダウンサイジングの検討
	⑦事業経営の効率化	ア　民間委託による業務の効率化 イ　簡易水道事業経営のあり方の検討 ウ　置賜圏域における広域化の調査・検討 エ　債権管理の強化 オ　スマートメーター導入の検証・検討
	⑧技術力の確保・継承	ア　各種研修への参加 イ　職員間の知識・技術の共有及び継承
	⑨水道料金の適正化	ア　適正な水道料金の算定 イ　料金体系の検討
	⑩お客さまサービスの充実	ア　インターネットによる各種手続きの導入等利便性の向上 イ　ｅＬ－ＱＲによる水道料金支払いの導入 ウ　広報・ホームページ等による情報提供 エ　よねざわ上下水道だよりの発行 オ　上下水道事業経営懇談会の開催 カ　インターネットへの PR 映像掲載
	⑪水資源の有効利用	ア　漏水調査の実施 イ　漏水修繕の実施 ウ　漏水が多発している配水管・給水管の布設替え
	⑫環境対策の推進	ア　建設発生土のリサイクル イ　省エネ行動の実践

4　中期財政経営計画

（1）水需要予測

（単位：人、㎥）

	R９	R１０	R１１	R１２	R１３
給水人口	71,220	70,400	69,580	68,759	67,939
年間総配水量	9,469,560	9,362,250	9,256,035	9,141,060	9,037,765

（2）収益的収支

これは財政見通しを把握するための試算です。下表の１（１）「料金収入」については、物価高騰による支出の増加などを踏まえ、将来にわたり健全な経営を維持するため、令和 10 年度中に水道料金を 20%値上げした場合を仮定して試算しています。なお、水道料金の改定を決定したものではなく、実際の料金改定については、適切な時期に具体的な検討を行います。

（単位：千円、税抜）

		R９	R１０	R１１	R１２	R１３
収入	1 営業収益	1,691,101	1,844,517	1,996,727	1,990,921	1,985,180
	(1)料金収入	1,587,157	1,738,889 (1,580,808)	1,889,381 (1,574,484)	1,881,823 (1,568,186)	1,874,295 (1,561,913)
	(2)その他	103,944	105,628	107,346	109,098	110,885
	2 営業外収益	122,812	122,611	122,360	122,477	121,059
	収入計	1,813,913	1,967,128	2,119,087	2,113,398	2,106,239
支出	1 営業費用	1,748,052	1,840,082	1,859,137	1,891,243	1,942,824
	2 営業外費用	23,352	45,517	67,104	101,481	125,218
	支出計	1,771,404	1,885,599	1,926,241	1,992,724	2,068,042
経常損益		42,509	81,529	192,846	120,674	38,197
特別損益(舘山浄水場等解体)		△144,144	△216,216	△224,640		
当年度純利益		△101,635	△134,687 (△292,768)	△31,794 (△346,691)	120,674 (△192,963)	38,197 (△274,185)

※「料金収入」と「当年度純利益」の括弧書きは、料金改定を行わない場合の数値（参考値）

（3）資本的収支

（単位：千円、税込）

		R９	R１０	R１１	R１２	R１３
収入計		618,520	533,700	890,400	847,500	499,800
支出	1 建設改良費	1,064,007	936,596	1,416,800	1,271,144	935,623
	2 企業債償還金	101,854	118,239	142,657	163,144	197,293
	支出計	1,165,861	1,054,835	1,559,457	1,434,288	1,132,916
不足する額		547,341	521,135	669,057	586,788	633,116

（4）設備投資計画

（単位：千円、税込）

	事業名	R９	R１０	R１１	R１２	R１３
1	新産業団地整備事業		100,000	100,000	100,000	
2	重要施設耐震化事業	656,007	415,596	754,800	469,144	584,623
3	配水管布設・布設替事業	337,000	337,000	217,000	217,000	306,000
4	白布簡易水道施設整備事業	26,000	39,000	300,000	400,000	
5	施設、機器・計器等整備事業	45,000	45,000	45,000	85,000	45,000
計		1,064,007	936,596	1,416,800	1,271,144	935,623

（5）中期指標

（単位：%）

項目	R９	R１０	R１１	R１２	R１３
有収率	81.53	81.64	81.75	81.95	82.06
経常収支比率	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
営業収支比率	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
料金回収率	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
収納率	95.32	95.32	95.32	95.32	95.32

5　目標達成の評価等

本計画の進捗状況及び目標（中期指標）の達成状況について、毎年度決算後、市ホームページで公表します。

【概要版】米沢市水道事業ビジョン 2036（案）

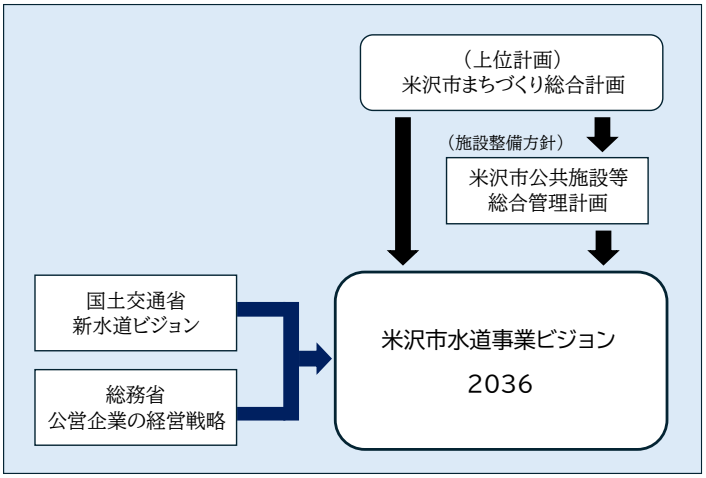
（計画期間　令和 9 年度～令和 18 年度）

1　策定趣旨・位置づけ

本市の水道事業は、大正14年の創設以来、昭和27年から8次にわたる拡張事業を重ね、生活環境の向上や産業の発展を支えてきました。

この間、本市の水需要は経済成長や人口の増加などにより順調に伸び続けてきましたが、環境保全意識の高まりに伴う節水型社会の構築や近年の人口減少などを背景とした水需要の低迷による料金収入の減少に加え、老朽化した施設や管路の維持、更新などの施設整備事業に莫大な費用が見込まれるなど、現在の水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

この度、このような社会情勢の変化を見据え、将来にわたり安心・安全な水道水の安定した供給や健全経営を維持するため、DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用や SDGs（持続可能な開発目標）の理念を踏まえた計画的かつ合理的な経営を目指すため、本市水道事業が進むべき方向として、中・長期的な事業運営の基本的な方針を示した「米沢市水道事業ビジョン 2036」を策定するものです。



［米沢市水道事業ビジョン 2036 の位置づけ］

2　本市水道事業の現状と課題

ア　水需要の低迷

人口減少や節水型機器の普及などにより、今後、水需要は減少することが見込まれます。

⇒水需要の予測を踏まえ、施設更新時における施設規模の適正化や統廃合を検討する必要があります。

イ　簡易水道事業の経営

白布高湯及び板谷の簡易水道事業は、給水人口の減少等により、非常に厳しい経営状況が続いています。

⇒水道料金の体系や施設更新のあり方など、持続可能な簡易水道事業の経営について検討が必要です。

ウ　水道施設の老朽化

水道管や水道施設には、法定耐用年数を超えて使用しているものがあり、老朽化が進んでいます。

⇒アセットマネジメントに基づき、計画的な更新と耐震化を進める必要があります。

エ　災害・事故等の対応

全国各地で発生している大地震や濁水による長時間断水など災害への対応力の強化が求められています。

⇒他自治体との相互支援体制を強化するとともに、応急給水・復旧体制を整備する必要があります。

⇒各種マニュアルの整備・見直しや訓練を通じて、災害時の対応力を高める必要があります。

オ　経営基盤の強化

料金収入の減少、物価高騰による経費の増加、施設の更新費用など、経営状況は厳しさを増していきます。

⇒業務の効率化や経営改善を進める必要があります。

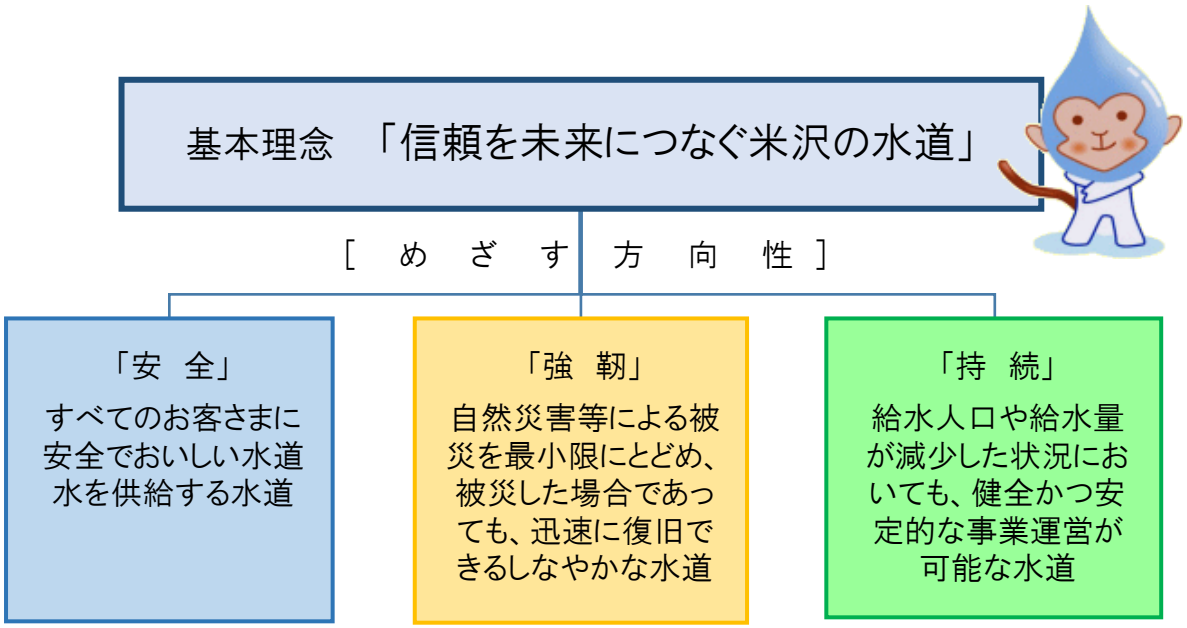
⇒健全な事業運営を維持するため、水道料金のあり方を定期に検証する必要があります。

⇒漏水による事業収入の損失を防ぐため、計画的な水道管の修繕・更新及び漏水防止の取組が必要です。

3　基本理念とめざす方向性

安全で安心な水道水を安定的に供給することは、水道事業の基本的な使命です。その使命を果たし、お客さまからの信頼に応えていくため、時代や環境の変化に的確に対応するとともに、将来世代に過度な負担を先送りすることなく、健全で持続可能な経営基盤を構築し、次の世代へ確実に引き継いでいく必要があります。

本市水道事業では、これまでの取組や現状・課題を踏まえ、将来にわたり安全で安心な水道水を安定的に供給していくため、基本理念とめざす方向性を次のとおり定め、その実現に向けて取り組みます。



4　主な取り組み

安全

水道は、水道法で定められた厳しい水質基準を満たすため、さまざまな工程で水質を管理し、安全性を保っています。水道水の安全性を理解していただくには、なお一層の情報公開や水質管理を徹底することが大切です。

お客さまに水道水を安心して飲んでいただけるよう『安全でおいしい水道水の供給』をめざします。

①水質管理体制の強化
- ・水安全計画に基づき、水質管理を適切に実施します。
- ・水質検査計画を策定し、計画に基づく水質検査を実施します。

②良質な水の追求
- ・洗管作業により濁水等の発生を抑え、給水環境の改善を図ります。
- ・貯水槽水道の管理者に対し、安全な水が給水されるよう適正な維持管理の指導・助言を行います。

③水源・水量の確保
- ・災害等による断水時における応急給水活動に必要な水源を確保するため、非常用水源である地下水源の点検・整備を行います。

強靭

水道は、市民生活や社会経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインです。そのため、地震や渇水などの災害時においても被害を最小限にとどめ、必要な水を確保できるよう、水道施設の計画的な更新や耐震化を進め、災害に強い水道を構築することが重要です。

また、災害等により水道施設が被災した場合にも、迅速な応急給水や復旧が行えるよう、応急体制を強化し、強靭で安心できる水道をめざします。

④水道施設の計画的な更新・耐震化

・アセットマネジメントに基づき、施設の重要度や更新需要を踏まえ、計画的な更新・耐震化を進めます。
・避難所・病院等の重要施設につながる管路や、導水管・送水管・配水本管などの基幹管路について、米沢市上下水道耐震化計画に基づき順次耐震化を図ります。
・水道施設の耐震性を評価し、必要性や優先順位を整理した上で、計画的に耐震化を進めます。
・老朽化が進む白布浄水場について、施設の状況や将来の水需要を踏まえ、整備方針を検討します。

⑤危機管理・応急体制の強化

・災害等に備え、各種マニュアルの整備（見直し）を行うとともに、マニュアルに沿った応急給水・復旧体制の強化を図ります。

持続

水道事業は、原則としてお客さまからの水道料金で運営されている独立採算制の公営企業です。料金収入の減少が予想されるなど厳しい環境にあっても、効率的に施設の整備や事業運営を進めることが大切です。

施設・経営などのあらゆる面で健全な水道を次世代へ引き継ぐため、『健全な水道経営』をめざします。

⑥施設規模の適正化

・施設更新時に施設能力を見直し、適正な規模で施設整備及び施設の統廃合の検討を行います。

⑦事業経営の効率化

・民間委託等による業務の効率化やコスト縮減を図るとともに、収納率の向上に取り組みます。
・単独での経営が厳しくなっている簡易水道事業の経営のあり方について料金を含め検討します。
・将来にわたる安心・安全な水道水を安定的に供給するため、水道事業の広域化について必要性を含め調査・研究を行います。
・債権管理を適切に行い、収納率の向上に努めます。
・スマートメーターの検針業務の省力化、漏水の早期発見、冬季間の確実な料金調定等における有用性を検証し、本格導入を検討します。

⑧技術力の確保・継承

・各種研修会に積極的に参加し、専門的知識や技術の習得を図ります。
・職員間で知識や技術を共有し、将来にわたり安定した事業運営を担う人材育成と技術継承に努めます。

⑨水道料金の適正化

・令和10年度で終了する現在の上水道料金算定期間及び山形県企業局からの水道用水供給単価の改定（予定）に合わせ、適正な料金を算定します。
・給水人口の減少、節水型機器の普及などによる水需要の減少に対応した料金体系を検討します。

⑩お客さまサービスの充実

・eL-QR による水道料金支払いを導入するなど、インターネットによる各種手続きを導入し、お客さまの利便性向上を図ります。
・市広報、水道事業独自の広報紙（よねざわ上下水道だより）、ホームページ、SNS 等を通じて積極的に情報の提供を図ります。
・上下水道経営懇談会の開催を通して、お客様の意見・要望を把握し、事業運営に反映させます。
・インターネット上に PR 映像を掲載するなどにより広報活動の充実を図ります。

⑪水資源の有効利用

・限られた水資源を有効利用するため、計画的に漏水調査を行い、漏水箇所の迅速な修繕及び漏水が多発している配水管・給水管の布設替えを行います。

⑫環境対策の推進

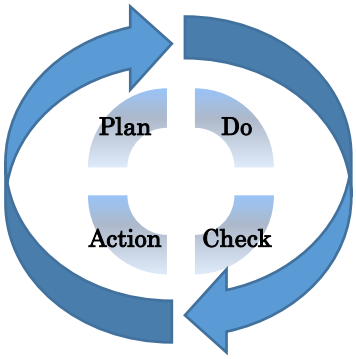
・建設発生土のリサイクルに取り組むとともに、省エネルギーを意識した事業運営を推進します。

5　フォローアップ

本計画の計画期間は、中・長期的な視野に立ち、令和9年度から令和18年度までの10年間とし、計画策定から概ね5年後を目途に見直しを行います。

見直しの際には、右図に示すPDCAサイクルにより、Do（計画の実施）、Check（分析・評価）、Action（改善の検討）を行い、次のPlan（計画の策定）に反映させます。

ＰＤＣＡサイクル



問い合わせ
米沢市上下水道部　業務課・水道課
〒992-0012　山形県米沢市金池五丁目 1 番 23 号
電話 0238-22-4511（代）　FAX　0238-23-6177



米沢市水道事業マスコット
「ウォーキー」